



EOS R5C Firmware update

2023年6月下旬無償ダウンロード開始予定。

発売から1年が経ち、たくさんのお客様にご導入いただいたEOS R5 C。その機能や性能に対し、ご要望も多くいただいて参りました。この度、すべてではありませんが、お客様の声に応える機能向上を盛り込んだファームウェアを公開します。多くのアップデート項目を予定しており、現在鋭意開発中ですが、決定している内容の一部を以下にご紹介します。

■ Video/Photo切り替え時間短縮

- Video→Photo 約5秒短縮
- Photo→Video 約2秒短縮

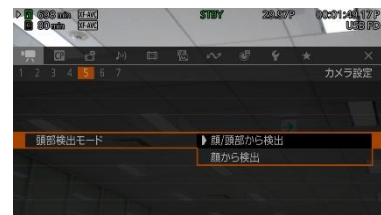


■ AF性能を改善

・追尾枠が可変になります。被写体サイズを把握しコントラストがある部分の測距結果を使うことで合焦確度が高くなります。



・顔を検出していなくても頭部検出が可能になります。最初から後ろ向きの人物でも検出・追従できるようになります。



■ 省電力モード追加

デフォルト設定の4K60Pで、撮影可能時間が約30%増加する見込みです。ただし、下記の機能が使用できない制限があります。

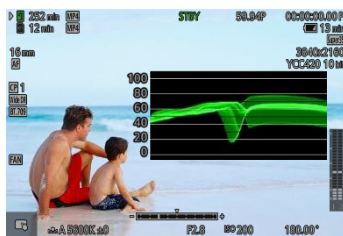
RAW、8K MP4、4K XF-AVC (Intra) のSlow & Fast、LCD/VF輝度、HDRアシスト、外部とのUSB/ネットワーク通信、カメラからアクセサリへの給電

その他、ご要望の多かった機能の改善として、WFM（波形モニター）の表示設定も改善しております。

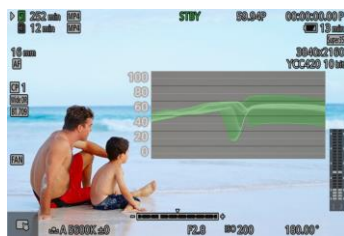
■ WFM(波形モニター)表示サイズ・透過度設定対応



通常サイズ



2倍拡大



透過度設定

これからもCINEMA EOS SYSTEMはお客様の映像表現の力になれるよう、進化をしております。新しいファームウェアの公開を楽しみにしていただき。情報は随時、キヤノンホームページ、またはCanon Creator Societyで発信してまいります。今後ともよろしくお願ひいたします。

■ ファームウェアアップデート予定項目のまとめ

EOS R5 C新ファーム：2023年6月下旬公開予定

EOS C70、C300 Mark III、C500 Mark II新ファーム：2023年7月下旬公開予定

ファームウェアアップデート項目	R5 C	C70	C300 Mark III C500 Mark II
キヤノンレンズ新製品等への対応	○	○	○
8K MP4 収録時、2倍マグニファイに対応（HDMI 4K出力時は非対応）	○		
マグニファイ時にワンタッチで左右切り換えに対応（VRレンズ装着、8K RAW収録時）	○		
Video/Photoモードの切り換え時間を短縮	○		
省電力モードの追加	○		
クリアスキャンの分解能を拡大	○	○	○
デジタルテレコン機能 [倍率1.5x / 2x / 2.5x / 3x] を追加	○	○	○
WFMの拡大表示	○	○	○
ベクトルスコープのゲインをタッチで変更可能	○	○	○
WFM/ベクトルスコープの透過度変更が可能	○	○	○
12GSDI:1080i 固定モード、 Peaking/ FocusGuide 表示			○
AF性能を改善	○	○	
Custom PictureのGamma/Color Spaceに[Canon 709 / BT.709]を追加。Proxy記録色変換の選択肢に[CMT 709]、ビューアシストに「CMT 709」を追加。	○	対応済み	対応済み
Custom PictureのWhite Balanceに[G Gain]を追加	○	対応済み	対応済み
コントロールリング/ダイヤルで[被写体切り換え]が可能	○	○	